



平成 18 年度 第 8 回 (2007 年 1 月度) 理事会議事録

日 時	平成 18 年 1 月 20 日(土) 9 時 30 分～12 時 00 分
場 所	AMB property Japan 事務所 : 山王パークタワー22 階
出席者	理事 : 植村、竹政、神野、土屋、廣瀬、泉澤、富田、西村、内田、山内、関口、宮川 監事 : 事務局 : (順不同、敬称略) (計 12 名)
欠席者	理事 (委任状有) : 上田 (植村) 岡、岡崎、 監事 : 高柳、大久保
議 題	特別事項 審議事項 1 新入会員承認 (会員部会) 2 賛助会員入会審議 (渉外部会) 3 4 5 6 報告事項 1 今年の活動の反省・今後の活動及び来期の活動 (各部部长) 2 1 月度会計報告 (土屋) 3 来期の理事推薦 (植村) 4 事務所の賃借について (植村) 5 6
添付資料	添付 1 1 月部会別会計報告 (12 月試算表、12 月部会別試算表) 添付 2. 賛助会員獲得ガイドライン (渉外部会) 添付 3. 事業計画 添付 4. 添付 5. 添付 6. 添付 7. 添付 8.



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p> <p>1. 新入会員承認 (神野理事) 下記2名の新入会員を会長が承認した。 FE-0317 中沢 真一さん FE-0318 松浦 勇希さん 昨年10月の試験で、現在までに2名の会員からPE合格の連絡を受けた。 下記1名の入会申し込み者については、入会金納入条件で会長承認とする。 AF会員 高畑 聡人さん(入金条件で承認) 会員総数： 理事会前PE 123名 FE 199名 AF 15名 ST 4名 合計 341名 理事会後PE 123名 FE 201名 AF 15名 ST 4名 合計 343名</p> <p>2. 賛助会員入会審議 (内田理事 (上田部会長の依頼による)) 協立化学産業 (株) の賛助会員への入会は承認された。 それに伴い、賛助会員獲得ガイドライン (案) を以下の点で見直す。 ・ 3.3 賛助会員は CPD セミナー等・・・非会員価格→会員価格とする。 ・ 賛助会員は事業報告書に宣伝を掲載できる。(まず、協立化学産業 (株) に広告掲載の意思を確認する) ・ 賛助会員は 1年を入会単位とし、継続入会は年次更新できる。 これ以後、更に継続して賛助会員の増加を図る努力を行うこととなった。</p> <p>● 報告事項</p> <p>1. 今年の活動の反省・今後の活動及び来期の活動</p> <p>教育部会 (山内部会長) 努力目標のCPD1回を除きCPD回数は消化。PE受験セミナーは3回の予定を2回実施、残り1回を3月に可能か調整中。(4,5月にずれ込む可能性もある) 内容的には、日産工場見学は興味深いものであったが、他はPE受験セミナーも含め集客が問題。今後どのような差別化を図り米国PEの特色を出していくかが重要。見学会・米国倫理・米国エンジの新しい情報などがテーマか。単なる回数アップでは、1回10名以下となり効率が悪くなる恐れがあり、今後議論は必要。</p> <p>企画部会 (宮川部会長) 受験ティップスの改定版の発行作業を募集したが、応募者がゼロであった。 10月の試験の件があり、間に合うように作業する必要がある。再度HPで募集する。 事業報告書 06年度の事業報告書作成にかかる。 4月1日までに各部会は06年度の活動一覧表 (参加人数) を作成、提出。 4月28日までに各部会の06年度活動と07年度活動予定を纏めて提出。 書式フォーマットは、企画部会より各部会長へ配布予定。</p> <p>会員部会 (神野部会長) 会員の会費未納者が多く、期末で資格喪失者が多く出るので悩みの種である。 PE/FE合格祝賀会を2月24日に実施する予定。なお今期の4月に試験実施されなかったので9月の合格祝賀会は実施しなかった。 会員の名簿のメンテナンスは鈴木部会員、井上部会員の協力でフォローアップできている。</p>	<p>会員部会より賛助会員入会申込書 (現在の PE 会員申込書を団体用に修正) を上田理事へ送付する。尚、賛助会員獲得ガイドラインを修正し、正式文書とする。 (添付)</p>



議事内容	アクション
<p>渉外部会 (内田理事) 今年度のEngineers-Weekは、関口理事を通じて、日本フィランソロピー協会殿の協力を得て、3月17日(土)オカモトヤビルで、14:00~17:00に開催する。土屋理事からNSPE関連のトピックスなども加え、当日の参加をJSPE会員に広く呼びかけ、当活動を広める。 国内エンジニアリング団体とのコラボレーション、大学・企業へのJSPE認知活動、等はEngineers-Week 活動に含めて、今期、実施予定。 賛助会員獲得は、引き続き、積極的に行う。 職業紹介仕組みづくりの原案は、3月までに原案作成予定。</p> <p>広報部会 (関口部会長) 広報部会は本年度、CPDセミナーや各種イベントの案内を、ホームページ、Webmasterからのメール発信を通して、会員の皆様へお知らせしてきた。本年度の事業計画の一つであるホームページのリニューアルについては、3月末完成を目標に検討を進めている。 かわら版については、年度内の発行を目指す。次の発行時期としては、10月頃が望ましい。</p> <p>総務部会 (竹政副会長) 総務部会は本年度、①理事会の開催、②総会の開催、③新規MOT研究会の立ち上げ、④受験チップスの販売、⑤官公庁への書類提出の業務を実行してきた。</p> <p>【反省点と来年度に向けての改正点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会は6月の早い時期に実施したほうが良い ・MOT研究会は本年立ち上がったので、07年より他の部会所属を検討する。 ・官公庁への届出は、事務局と協力の上3月末に届け出る。 本年度より、事業報告書の報告フォーマットは東京都への届け様式に纏めるように努力する ・MOT研究会は、事業報告書へ研究成果を掲載する。 ・東京都への書類提出に関しては、総会議題の時点で東京都指定様式で作成する(過去は書式に合わせて修正)。 ・定款変更申請については、必要な書式が揃っていないので遅れているが、今年度中の提出を検討する。 <p>会計部会 (土屋部会長) 今年度の活動の中心である新会計システムの仕分・勘定元帳機能はほぼ出来ている。今後は、今年度transactionデータの新システムへの移行、および新公益法人会計に準拠した決算を行うことが残された作業項目である。 日々の会計処理については「発生基準会計」の原則について各部会の理解も徐々得られるようになってきたので、収支の時間遅れ無き記帳が出来るようになってきた。今後も領収書を溜め込むことなきよう会計部会への報告をお願いしたい。 2月度会議までに次年度予算申請のフォームを送付しますので宜しく。</p> <p>2. 1月度会計報告 12月までのJSPEの予算執行状況が説明された。ほぼ予算どおり推移。</p> <p>3. 来期の理事推薦 会長から、07年度の理事の数を枠いっぱいの20名までに広げたいとの提案があった。そこで、数名の新規理事候補者の名前が挙げられた。まだ枠があるので現理事より新人の理事候補を挙げてほしいと要望があった。</p>	<p>6月9日(土)を2006年度総会開催日として会場を押しさえる。</p>



議事内容	アクション
<p>4. 事務所の賃借について 新事務所への転居を検討するために、JSPEとJPEC側とのワーキンググループを結成することになった。 JSPE側から 植村会長、土屋会計部会長、内田理事 JPEC側より 廣瀬副会長、鹿野氏、他 JPEC側はあと1~2名追加予定 2月理事会頃までに詳細をつめて、両方の会に提起する予定。</p>	

承認	植村 大輔
承認	山内 伸一
承認	
記録作成	竹政 一夫